

園児による稚魚放流会

令和6年7月2日（火）、五戸川において稚魚放流会が行われました。

主催した団体の「魚にやさしい五戸川の環境づくりを進める会」は、五戸川流域を対象に、環境の保全に必要な住民活動を行うことを目的としている団体です。平成20年度から地元幼稚園・保育園児による稚魚の放流会を実施しており、今回放流が行われたのは五戸川中流域2か所で、くらいしこども園・みゆき保育園・江渡幼稚園の園児ら45名により、イワナとヤマメの稚魚、合計4,000匹を放流しました。



【会長による挨拶】

はじめに会長から、参加した園児にむけて、安全に配慮し楽しく活動してほしいなどのお話がありました。次に、県民局職員からは水循環について説明を行いました。普段何気なく使っている水の大切さや農林水産業と水循環の関係などについて学びました。



【水循環についてパネルで学習】



【おおきくなってね！と声をかけながら放流】

また、観察用に成魚が用意され、園児は稚魚と成魚の違いについてよく観察していました。



【成魚観察の様子】

放流と観察がおわると、園児たちからは「さっき放した魚はどこまで行くの？」など、たくさんの質問の声があがり、興味を示している様子でした。

最後に記念撮影をして、今回の放流会は終了しました。魚にやさしい五戸川の環境づくりを進める会は、適切な水の循環の保全のため、また次世代を担う子どもたちに五戸川の自然環境を知ってもらうため、今後も園児たちによる放流活動を続けていく予定です。



【最後に記念撮影】